

生殖補助医療（ART）スケジュール ～保険診療～

※患者様によってスケジュールが変わることがあります

治療計画

卵巣刺激

採卵・受精

胚培養

胚移植・全胚凍結

不妊検査終了後

夫婦で受診

検査結果説明

治療計画を立てます



必要書類

- ・婚姻関係証明書（戸籍等）
6カ月ごと提示
- ・生殖補助医療治療計画書
- ・高度生殖補助医療
説明 / 同意書
夫婦署名の上 1周期ごと提出

月経2～4日目

採血・胸部X線・心電図

排卵誘発剤 開始

（約10～14日間）



自己注射
または内服

卵巣が十分に発育
したら採卵2日前の夜に
排卵を促す薬を使います



自己注射
または点鼻

途中2～3回 採血・超音波検査にて
卵胞の発育状況を見ます



採卵

（先細針 低圧吸引法）



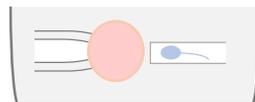
麻酔の場合は
ご家族の院内待機
が必要です

体外受精



顕微授精

（ピエゾ法）



採卵当日から最大6日間
タイムラプス培養器
にて培養

（培養器から出さずに
24時間連続撮像）



受精確認

（採卵後1日目）



初期胚

（採卵後2～3日目）



胚盤胞

（採卵後5～6日目）

新鮮胚移植

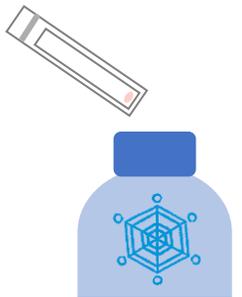
- ・初期胚移植
- ・胚盤胞移植



新鮮胚移植後
余剰胚凍結も可能

全胚凍結

- ・初期胚凍結
- ・胚盤胞凍結
（完全胚盤胞以上）



月経開始後 **凍結結果説明**
翌周期の**凍結融解胚移植**
の計画を立てます

妊娠反応

（採卵後16日目ごろ）

妊娠反応

（融解胚移植後11～13日目頃ごろ）